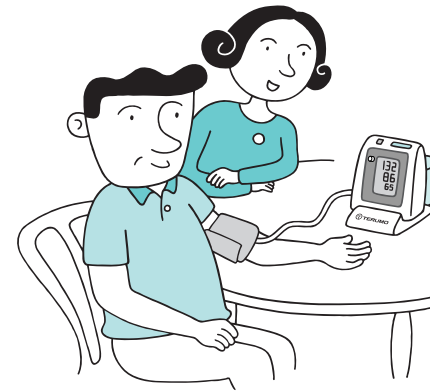


テルモ電子血圧計 P370

ご利用の手引き

／品質保証書



お使いになる前に

安全上のご注意	1
次のものがそろっていますか?	3
乾電池を入れ、腕帯ケースを取り付けます	4
日付・時刻を合わせる	5
腕帯を接続します／記憶機能について	7

測定 しましょう

血圧を測る前に	8
まず、腕帯を巻きます	9
[開始／停止] ボタンを押して測定します	11
測定を終わる	13
測定値が高い／低いと感じたら	14
測るたびに測定値が違うと感じたら	16

記憶機能

平均値や記憶された測定値を見る	17
記憶を消去する	19

知 識

血圧の知識	21
血圧記録表	23

困った ときに

いつも再加圧するのが気になる場合(手動加圧) ...	25
乾電池の交換が必要なとき／ ACアダプタ(別売品)の使いかた	26
故障かな?と思ったら	27
注意・お手入れの方法	29
仕様／保証規定	30
品質保証書	裏表紙

ご使用前に、必ずこの「ご利用の手引き」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、「ご利用の手引き」は必ず保管してください。

安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、
お使いください。

●表示内容に従わず誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 禁忌 禁止 本品の性能を超える、または不適正な使いかたにより、死亡または重傷を負う危険があるため、絶対に行ってはいけないことを示します。

⚠ 注意 誤って使うと、傷害を負う可能性、または物的損害*のみの発生が想定されることを示します。
*物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⊘ してはいけないことを示します。 **❗** 書かれた通りに実行していただく必要があることを示します。

⚠ 禁忌・禁止 必ずお守りください

⊘ 測定結果の自己診断、
治療は行わない。

気がかりな点がある場合は医師にご相談ください。
自己診断、治療は危険です。 薬の服用は医師の指示に従ってください。



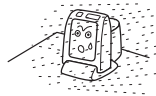
⊘ けがや血行障害および治療中の腕では
測定しない。

症状が悪化するおそれがあります。



⊘ 引火性のある環境で使用しない。

引火または爆発を誘因するおそれがあります。



⚠ 注意 必ずお守りください

⊘ 透析療法中、又は抗凝固剤、抗血小板剤、ステロイド剤等をご使用の方は、医師の指示なしで使用しない。
内出血を起こす可能性があります。

⊘ 強い静電気や電磁波に近づけない。
誤動作、故障の原因になります。

⊘ 血圧計の近くで携帯電話を使用しない。
誤動作、故障の原因になります。

⊘ お子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
けがのおそれがあります。

⊘ 分解・修理・改造は行わない。

⊘ 血圧測定の目的以外には
使用しない。
故障や事故の原因になります。

❗ 動かなくなったり、異常がある
場合は、直ちに使用を中止する。
点検・修理をお申し付けください。

⊘ 破損したものは使用しない。
けがのおそれ、誤動作・故障の原因となります。

⊘ 腕帯は付属された腕帯または別
売の適応機種合った腕帯以外
は使用しない。
誤動作・故障の原因になります。

ACアダプタ(別売品)についての安全上のご注意

血圧計本体にACアダプタ(別売品)を接続してご使用になる場合、次のことにご注意ください。

⚠ 注意 必ずお守りください

⊘ 適応機種合ったテルモ電子血
圧計専用ACアダプタ以外のAC
アダプタを使用しない。
火災・感電の原因になります。

⊘ 他の電気製品等にテルモ電子血
圧計専用のACアダプタを使用しない。
火災・感電の原因になります。

⊘ AC100V以外の電源で使用しな
い。
火災・感電の原因になります。

⊘ ACアダプタのコードの上に重
いものを置かない。
コードの破損により、火災・感電の原因
になります。

⊘ ACアダプタのコードやコネクタ
が傷んだり、コンセントの差込み
がゆるいときは使用しない。
感電・ショート、発火の原因になります。

⊘ ACアダプタのコードを釘など
で固定しない。
コードの破損により、火災・感電の原因
になります。

⊘ ACアダプタを水につけたり、水
をかけたり、水洗いしない。
感電・ショートのおそれがあります。

❗ お手入れの際は、必ずACアダ
プタをコンセントから抜く。その際、濡
れた手で抜き差ししない。
感電・けがのおそれがあります。

❗ 長期間使用しない場合、必ずAC
アダプタをコンセントから抜く。
絶縁劣化により感電や漏電火災の原因に
なります。

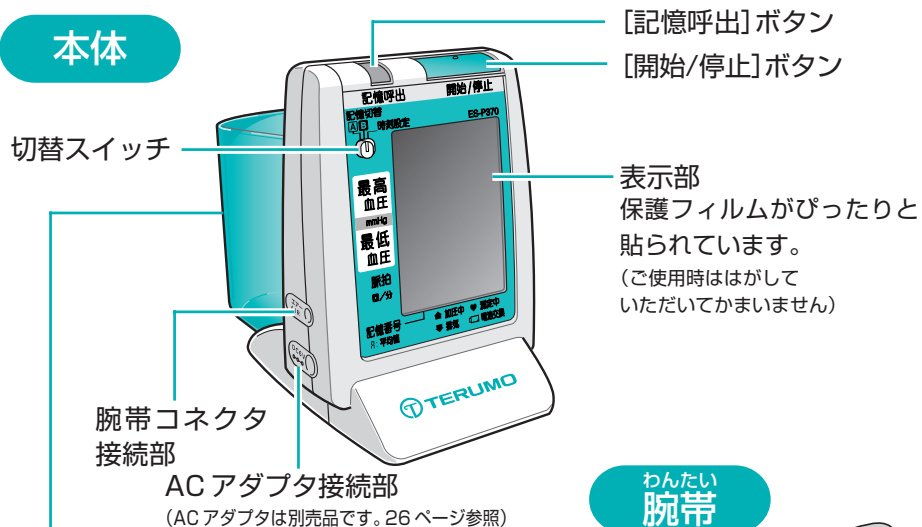
⊘ ACアダプタのプラグにゴミ等
を付着させない。
感電および故障の原因になります。

❗ ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っぱらずに必ずACアダプタを
持つ。
コネクタを本体から抜くときは、コネクタを持つ。
感電・ケガのおそれがあります。

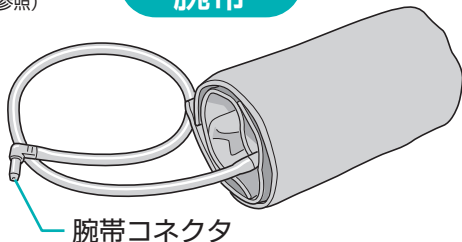
次のものがそろっていますか？

万一、不足しているものがある場合、すぐにお買い上げの販売店または、テルモ・コールセンター（☎0120-00-8178）までご連絡ください。

本体



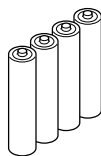
わんたい腕帯



わんたい腕帯ケース

使用後に腕帯を収納します。また乾電池のカバーを兼ねています。購入時には取り外されています。

単3形アルカリ乾電池4本



付属の乾電池はモニター用です。寿命が短い場合があります。

ご利用の手引き／品質保証書



この冊子が、品質保証書を兼ねています。大切に保管してください。

添付文書



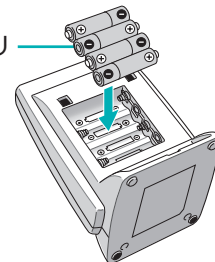
乾電池を入れ、腕帯ケースを取り付けます

最初にお使いいただく前に、付属の乾電池を入れてください。腕帯ケースは乾電池のカバーを兼ねているため、必ず取り付けてお使いください。

1 乾電池を入れる

⊕、⊖ 表示に合わせて、乾電池を ⊖ 側から入れる。

単3形アルカリ乾電池4本

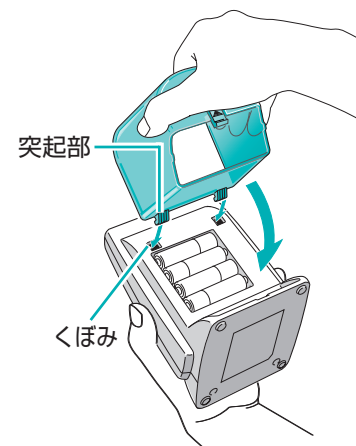


2 腕帯ケースを取り付ける

突起部を本体のくぼみに合わせ、腕帯ケースを取り付けます。

必ず取り付けて使用する。

- ⊘ 腕帯ケースの取り外し、取り付けでは、無理な力を入れない。腕帯ケースの破損や故障の原因になります。
- ⊘ 腕帯ケース部分を持って本体を持ち上げたり、運んだりしない。腕帯ケースが外れ、本体が落下し破損するおそれがあります。
- ⊘ 長期間使用しない場合は、乾電池を取り外す。乾電池を入れたままにしておくと、液漏れの原因になることがあります。



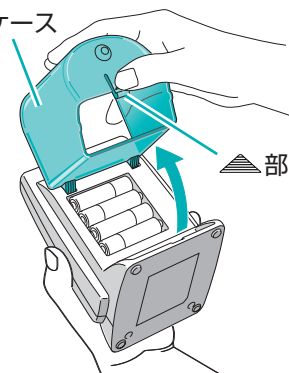
腕帯ケースの取り外しかた

乾電池を交換するときは、腕帯ケースを取り外してください。

▲部を押しながら、腕帯ケースを本体から取り外す

本体裏の腕帯ケースを持ち、▲部を持ち上げるようにしながら、矢印の方向に取り外します。

腕帯ケース



次のものがそろっていますか？

乾電池を入れ、腕帯ケースを取り付けます

日付・時刻を合わせる

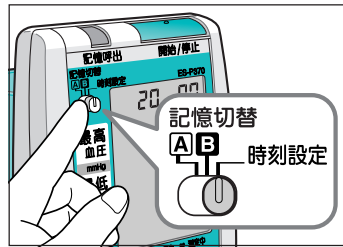
最初にお使いいただくときや、日付・時刻がずれたとき、長時間乾電池を外した後は、日付・時刻を合わせてください。

・日付・時刻を合わせなくても、血圧測定はできますが、日付・時刻は記憶されません。

1 乾電池を入れ、切替スイッチを時刻設定に切り替える

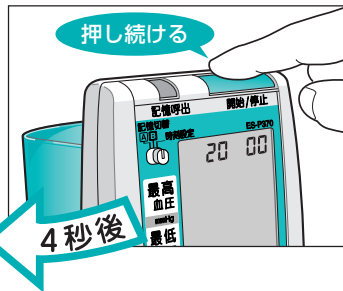
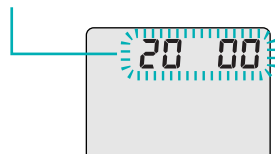
購入時は、**A** に合わせてあります。

例 2003年10月20日
18:30に合わせる場合



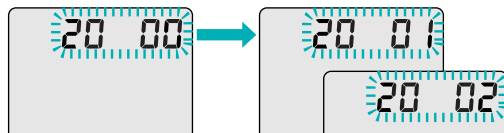
2 [開始/停止]ボタンを約4秒間押し続ける

西暦「2000」の数字が点滅します。



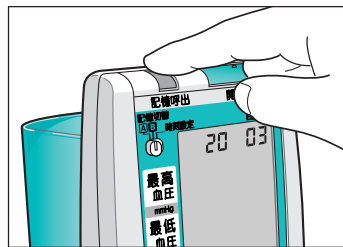
3 [記憶呼出]ボタンを押して数字を合わせる

[記憶呼出]ボタンを押すと、数字が増えます。(最大2030)。



西暦は2000~2030年に設定できます。

※ [記憶呼出]ボタンを押し続けると、数字を早送りします。



4 [開始/停止]ボタンを押す

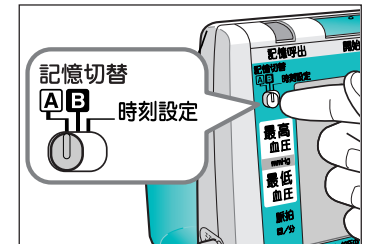
西暦が設定され、続いて「月」が点滅します。

5 手順の③と④を繰り返して、「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる



6 切替スイッチを**A**または**B**に切り替える

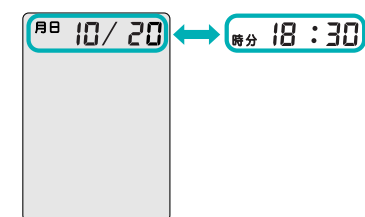
日付・時刻の設定が完了します。
「時刻設定」のままでは測定できません。



日付を見るには

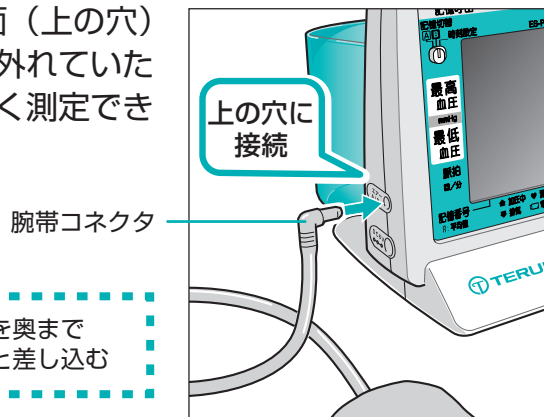
切替スイッチを時刻設定に切り替えて、[記憶呼出]ボタンを押すと、押ししている間は「日付」を表示し、離すと「時刻」を表示します。

●押ししているとき ●離れたとき



わんたい 腕帯を接続します

腕帯コネクタを本体左側面（上の穴）に接続します。コネクタが外れていたり、ゆるんでいると、正しく測定できません。

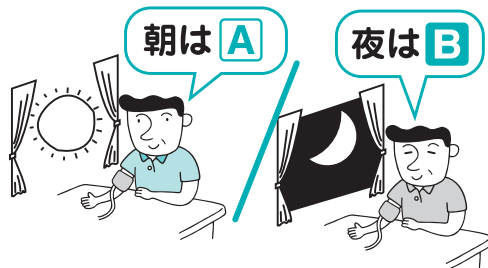
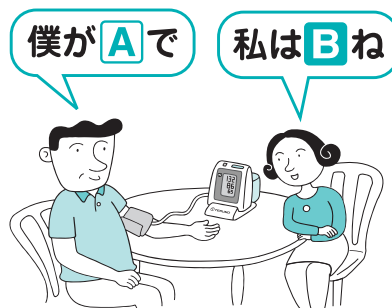


コネクタを奥までしっかりと差し込む

記憶機能について

この血圧計は測定値をAとBに分けてそれぞれ30回ずつ自動記憶することができるので、血圧管理にとっても便利です。

- ご夫婦など、お二人でお使いになるときは、それぞれの測定値を記憶できます。（例 お父さんはA、お母さんはB）
- 血圧を測定する時間を決めていらっしゃる方は、時間ごとの測定値を記憶できます。（例 朝はA、夜はB）



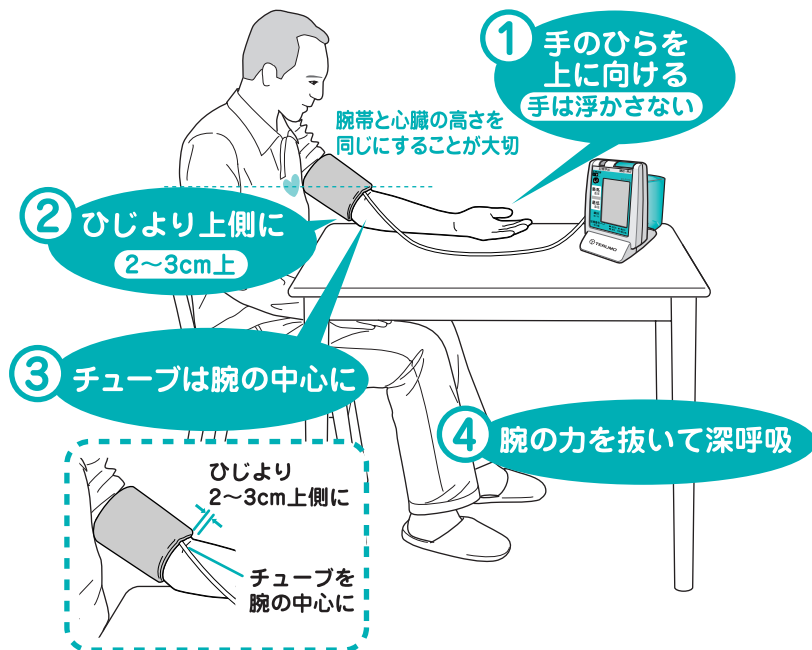
測定前に、切替スイッチをAまたはBの記憶させたい方に切り替えてください。

血圧を測る前に

正確な測定を行うために、次のことを心がけてください。

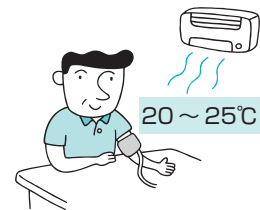
●腕帯を正しく巻き、正しい姿勢で測る

毎日同じ時間帯を選び、いつも同じ腕に腕帯を巻き、正しい姿勢で測りましょう。腕帯の巻きかたについては、9～10ページで詳しく説明しています。



●静かで過ごしやすい環境で測る

騒音や振動のない静かな場所で測るようにしてください。また、寒い部屋では血圧が高くなる傾向があるため、なるべく温度が20～25℃の快適な室内で測るようにしてください。



まず、腕帯を巻きます

左腕、右腕のどちらに巻いても測定できます。
正確に測定するには、いつも同じ腕に巻いてください。

正しい腕帯の巻きかた（左腕）

1 上腕部に腕帯をかぶせる

- チューブが手先のほうへ出るように



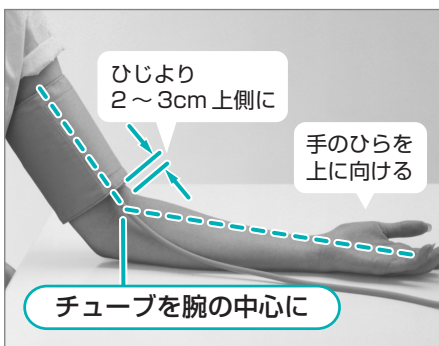
2 腕帯をぴったりと巻く

- 腕帯と腕の間にすき間ができないように
- 巻くときにチューブがひじ側に回ってしまわないように



3 チューブを腕の中心に合わせる

- ひじより2~3cm上側に
- 手のひらを上に向ける



腕帯は、腕以外の場所に巻かないでください。

腕まくりの失敗例

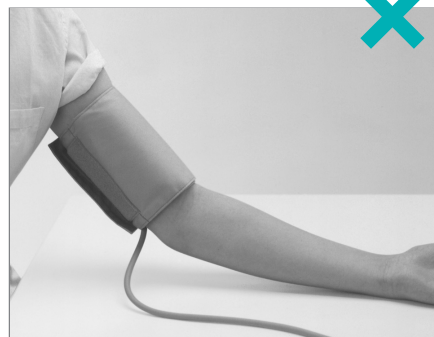


上着や厚手のシャツの上から巻かない。



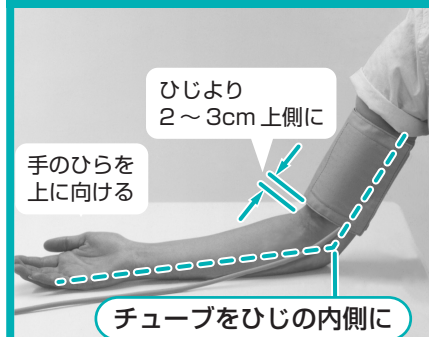
まくり上げた袖で腕を圧迫しない。

腕帯の巻きかたの失敗例



チューブがひじ側に回ってしまうと正しく測れません。

右腕に巻くこともできます



右腕に巻く場合は、チューブが小指からワキ下までの線上にくるように、位置を合わせてください。

[開始/停止] ボタンを押して測定します

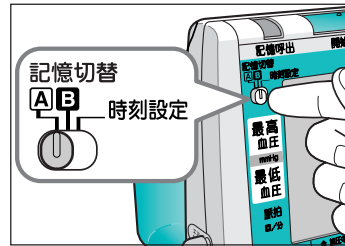
1 深呼吸して、気持ちを落ち着ける

緊張していると、血圧が上がります。



2 切替スイッチを[A]または[B]の記憶させたい方に切り替える

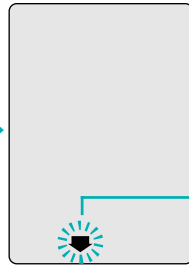
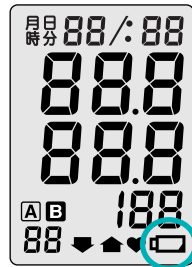
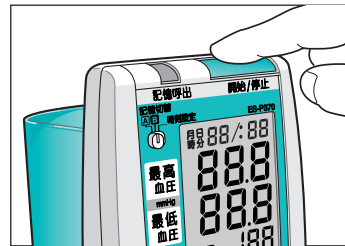
※記憶した測定値を、[A]から[B]、[B]から[A]へ移動することはできません。
※切替スイッチが時刻設定の位置にある場合は、測定できません。



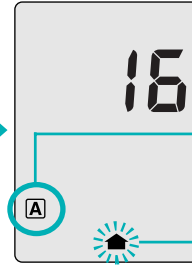
([A]の場合)

3 [開始/停止]ボタンを短く1回押す

数秒後に腕帯に空気が送られて圧力が加わります。表示が次のように変化します。



排気マーク



記憶マークが点灯 ([A]の場合)

加圧中マーク

すべての表示が点灯

正常に作動していることをあらかず初期表示です(このときの[]表示は、乾電池交換のお知らせではありません)。

排気マークが点滅

腕帯の中の余分な空気を抜いています(すぐに空気を送り込める状態の時は、排気マークは表示されません)。

自動的に加圧

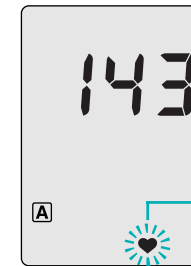
加圧が足りないときは、何度かに分けて行われる場合があります。

4 腕や体を動かさずに待つ

腕や体を動かすと、再び加圧する場合や、Err表示が出る場合があります。(加圧時の音が途中で変化しますが異常ではありません。)

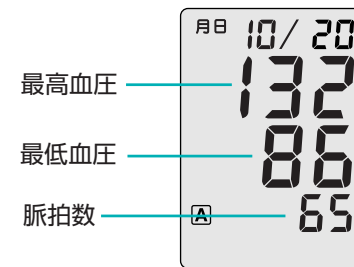


動かないで



脈に合わせて、測定中マークが点滅

5 測定値が表示される

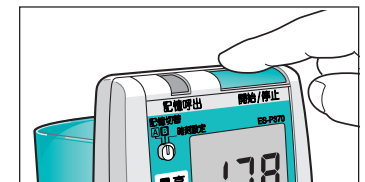


([A]の場合)

「測定日」と「測定時刻」を3秒おきに表示

「--/--」と表示されるときは、日付・時刻が設定されていません。「日付・時刻を合わせる」(5ページ)を参照して設定してください。

途中で測定を止めたいときは、[開始/停止]ボタンを押します



Err 表示が出たら

次の点を確認してから、腕や体を動かさないようにして、測りなおしてください。

- ・腕帯コネクタの接続..... 7 ページ
- ・腕帯の巻きかた 9 ~ 10 ページ

測定を終わる

測り終わったら、測定値を記録して、血圧計をしまいましょう。

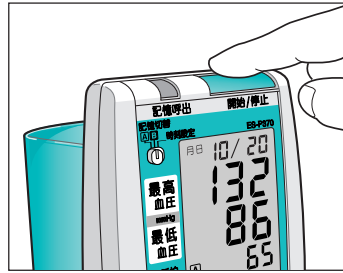
6 測定値を記録する

「血圧記録表」(23～24ページ)をコピーしてご利用ください。血圧を記録する前に電源が切れてしまったときなどは、記憶機能(17ページ)を利用して、過去の測定値を調べることができます。



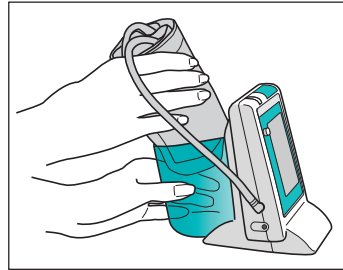
7 [開始/停止]ボタンを押して、電源を切る

測定後、2～3分何も操作しないと自動的に電源が切れます。表示がすでに消えているときは、[開始/停止]ボタンを押す必要はありません。



8 腕帯を腕帯ケースに収納する

チューブを取り付けたまま、腕帯ケースに収納できます。



腕帯コネクタを外さない。
ひんぱんに外したり取り付けたりすると破損の原因となります。

測定値に疑問を感じたら

- 測定値が高い/低いと感じたら ▶▶▶ 14ページ
- 測るたびに測定値が違うと感じたら ▶▶▶ 16ページ
- 血圧の知識 ▶▶▶ 21ページ

測定値が高い/低いと感じたら

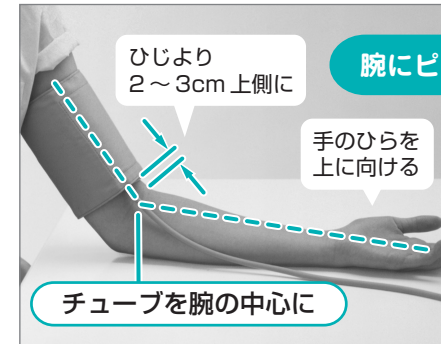
腕帯を正しく巻いていましたか？

どんな状態で測りましたか？

正しい測りかたを確認して、もう一度測ってみましょう。

腕帯を正しく巻いていましたか？

- 腕帯はひじより上(上腕部)に巻く
- チューブが出ているのは、手先のほう
- 上着や厚手のシャツの上から巻かない
- まくった袖で、腕を圧迫しない



(写真は左腕の場合)

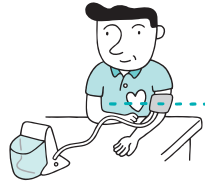
緊張していませんでしたか？

緊張すると血圧は上がります。医師や看護師さんの前では、平常値よりも高めになることがあります。また、はじめて自分で血圧を測るときも、緊張して血圧が上がる場合があります。深呼吸して、気持ちを落ち着けてから測定してください。



正しい姿勢で測っていましたか？

腕帯と心臓の高さを同じにすることが大切です。腕帯を巻いたら、手のひらを上に向け、ひじから先がテーブルの上に乗るようにします。

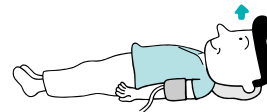


腹部が圧迫されると正しく測定できません（ソファなどの低い椅子に座ったり正座した場合）。また、ひじが浮いて不安定になったり、ひじを極端に曲げたりすると、正しく測定できません。



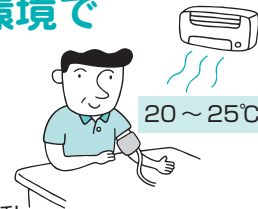
寝ながら測るときの正しい姿勢

あおむけの姿勢を取ります。測定中は天井を見て、首やからだを動かさないようにします。



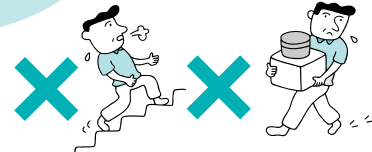
静かで過ごしやすい環境で測りましたか？

騒音や振動がある場所や寒い部屋では、緊張感から血圧が高くなります。理想的な室温は、20～25℃です。



運動直後に測っていませんか？

家事や軽めの運動を行っただけでも、血圧は上昇します。少なくとも5分間は安静にしてから測りましょう。



測るたびに測定値が違うと感じたら

- 血圧は1日10万回変わるとも言われています。1回毎の数値ではなく、1日の変化の傾向を知ることが大切です。
- いつも正しい測りかたをするようこころがけていますか？（8ページを見て、正しい測りかたを再度確認しましょう）

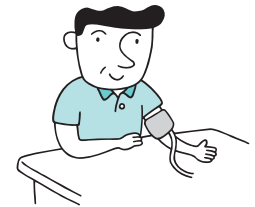
毎日同じ時間帯に測っていますか？

自分が一番リラックスできるときを選んで、毎日同じ時間帯に測定することをおすすめします（朝、目覚めた後や就寝前が1日のうちで最も血圧が安定すると言われています）。



いつも同じ腕で測っていますか？

右腕と左腕では測定値に差が出るため、いつも同じ腕に腕帯を巻くことが大切です。



うっ血したまま何度も測っていませんか？

連続して測ると、血管がうっ血して値が変化することがあります。測りなおすときは、腕を上げて手を握ったり開いたりして、うっ血を取り除きましょう。



平均値や記憶された測定値を見る

記憶機能について

自動的に記憶されます

測定が終わると、**A**と**B**の記憶させたい方に記憶されます(最大30回ずつ)。31回目以降は、最も古い測定値が消去され、新しい測定値が記憶されます。

自動的に平均値を計算します

記憶した測定値から、**A**と**B**それぞれの平均値を計算します。数回の平均値を見て血圧の傾向をつかむときに利用できます。

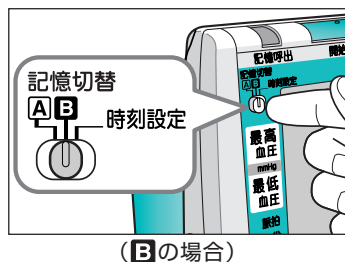
記憶を消去することができます

選択した1つの記憶またはすべての記憶を消すことができます。

※乾電池やACアダプタを抜いても、記憶された測定値は消えずに残ります。

- [開始/停止]ボタンを押して、電源を切ってからお使いください。測定中は記憶された測定値を見ることはできません。

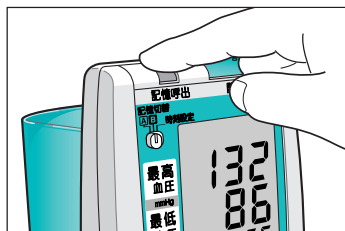
1 切替スイッチを**A**または**B**の見たい方に切り替える



2 [記憶呼出]ボタンを押す ●1回押す

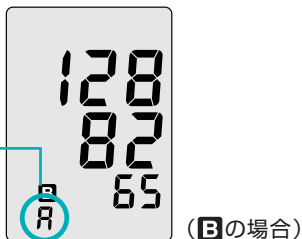
…記憶している測定値の平均値を表示。

(測定値が1つしかない場合は、平均値は表示されません。また、測定値がない場合は「—」が表示されます)



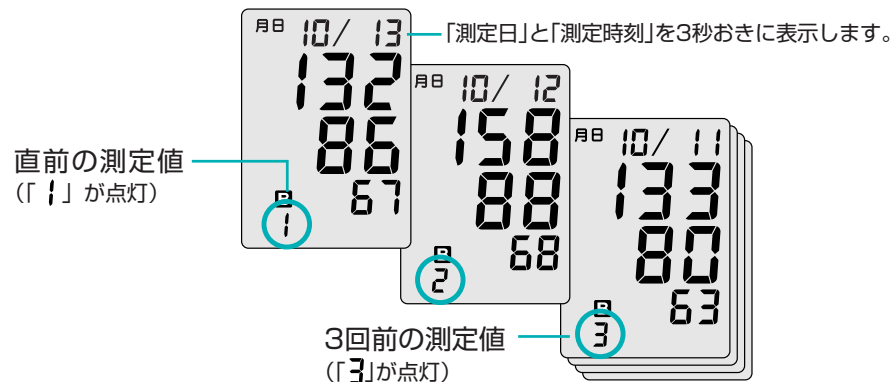
1回押したときは平均値 (「A」が点灯)

A: アベレージ (平均値)



●繰り返し押す

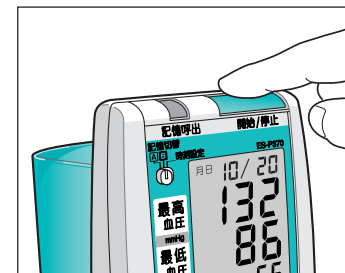
…押すごとに、測定値をさかのぼって表示(最大30回)。



繰り返し押すと、最も古い測定値を表示したあと、平均値の表示 (「A」が点灯)に戻ります。

3 電源を切るには [開始/停止]ボタンを押す

何も操作しないと、約18秒後に自動的に電源が切れます。



記憶を消去する

1度消去した記憶を元に戻すことはできません。

●[開始/停止]ボタンを押して、電源を切ってからお使いください。

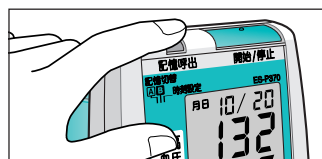
1つの記憶を消去する

1 切替スイッチを**A**または**B**の消去したい方に切り替える

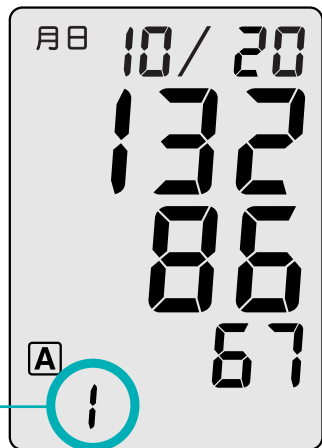


(Aの場合)

2 [記憶呼出]ボタンを押して消去したい測定値を表示させる



消去したい測定値は、日付・時刻や、記憶番号で確認してください。



記憶番号

(直前の測定値の場合)

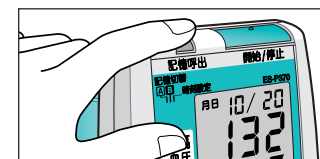
3 [記憶呼出]ボタンを押し続けたまま、表示の点滅を待って、「開始/停止」ボタンを押す

ボタンを押し続けると、約4秒後に表示が点滅します。

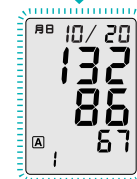
! 表示が点滅してから8秒たつと、電源が切れます。

選択した測定値のみが消去され、約1秒間「—」が表示し、電源が切れます。

手順 2 で平均値「R」を表示させた場合は、**A**または**B**のすべての記憶が消去されます。



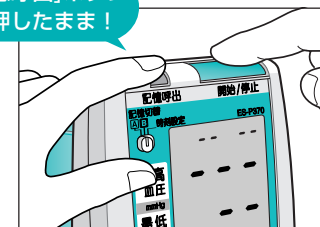
4秒後



8秒以内に

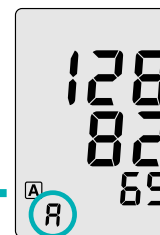
ボタンを押し続ける

[記憶呼出]ボタンは押したまま!



A または B のすべての記憶を消去する場合

19ページの手順 2 で [記憶呼出] ボタンを1回押して、平均値「R」を表示させ、20ページの手順 3へすすんでください。



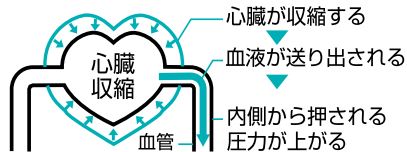
血圧の知識

血圧とは？

酸素や栄養など、私たちは生きていくのに必要な物質を血液から受け取っています。血圧とは、全身にくまなく血液を届けるために、血管の内部にかかる圧力のことです。

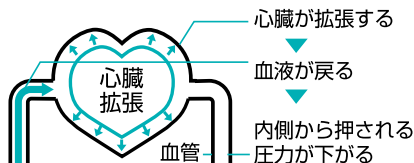
最高血圧とは

心臓が収縮すると、血液が送り出され、血管（動脈）内の圧力が上昇します。そのとき最も高くなる圧力を「最高血圧」といいます。



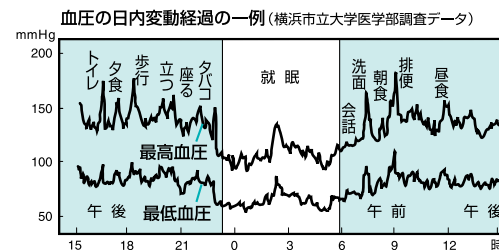
最低血圧とは

心臓が拡張すると、血管内の圧力は下がります。そのとき最も低くなる圧力を「最低血圧」といいます。



血圧は常に変動しています

ちょっとした姿勢の変化や、呼吸、精神状態で血圧は変化します。また、1日のうちでも、食事や歩行、トイレの後など、血圧は常に変動しています。いつも同じ時間帯に同じ環境で測るようにしましょう。



知っておきたい血圧分類

世界保健機構(WHO)と国際高血圧学会(ISH)では、成人の「上腕動脈での血圧値」を、年齢に関係なく右の表のように分類しています。ただし、この分類をもとに自己診断を下すことは危険です。気がかりな点があれば、早めに医師に相談しましょう。薬の服用は医師の指示に従ってください。

WHOおよびISHの血圧分類（1999年）
（上腕における聴診法での測定）

最高血圧	180以上	高血圧3（重症）					
	160~179	高血圧2（中等症）					
	140~159	高血圧1（軽症）					
	130~139	正常高値					
	120~129	正常血圧					
	120未満	至適血圧					
単位：mmHg		80未満	80 84	85 89	90 99	100 109	110以上
		最低血圧					

いつも再加圧するのが気になる場合

手動加圧

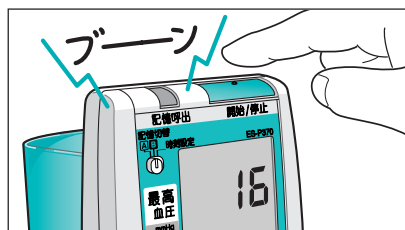
血圧値が高めで、いつも再加圧するのが気になる方は、手動加圧での測定をおすすめします。

1 腕帯を巻く

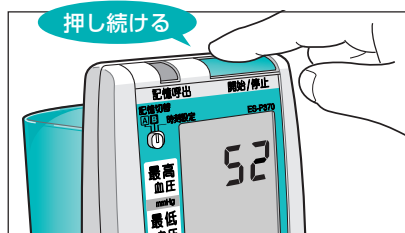
正しい測定姿勢については、8ページをご参照ください。

2 [開始/停止]ボタンを短く1回押す

加圧がはじまります。

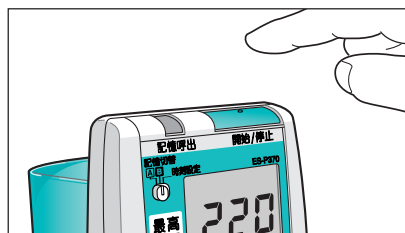


3 「50」前後になってから、[開始/停止]ボタンをもう一度押し続ける



4 ご自分の予想される最高血圧より40~50mmHg程度高くなったら指を離す

しばらくすると、脈に合わせて測定中マーク(♥)が点滅します。測定が終わったら測定値を記録しましょう。



⊘ 加圧を必要以上に高くしない。
腕に一過性の内出血が発生することがあります。

乾電池の交換が必要なとき

乾電池でお使いの場合、下の表示が出たときは、新品の同じ種類の単3形アルカリ乾電池4本を用意して交換してください。新しい乾電池の入れかたは、「乾電池を入れ、腕帯ケースを取り付けます」(4ページ)をご参照ください。

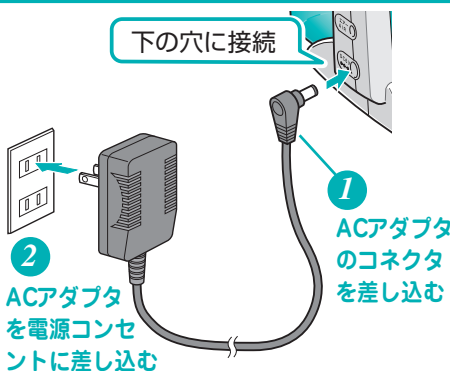


● [開始/停止] ボタンを押しても何も表示されない場合、測定できない場合、乾電池の交換マークが点滅する場合は、すみやかに乾電池を交換してください。

- 血圧値にもよりますが、約300回ご使用になれます。
(新品の単3形アルカリ乾電池使用、180mmHg加圧、周囲温度25℃、腕周囲28cmの場合)
なお、付属の乾電池はモニター用ですので、上記の寿命より短い場合があります。
- [開始/停止] ボタンを押した直後の初期表示(すべてのマークが点灯)で、乾電池交換マークが点灯するのは、交換のお知らせではありません。
- 電池残量テスターで残量ありと表示された乾電池であっても、この血圧計では使用できないことがあります。
- 乾電池を外しても、記憶されている測定値は消去されません。
- 乾電池を外しても、約5分間程度は日付・時刻は消去されません。

ACアダプタ(別売品)の使いかた

テルモ電子血圧計専用ACアダプタを使用して血圧を測ることもできます。



テルモ電子血圧計専用ACアダプタは、別売品です。「適応機種:テルモ電子血圧計P370」をご確認のうえ、テルモ電子血圧計取扱店でお買い求めください。
※ 乾電池なしでACアダプタをコンセントから抜くと、日付・時刻は消えてしまいます。日付・時刻をお使いの場合は、単3形アルカリ乾電池を併用してください。

故障かな？と思ったら

ご不審の点があるときは、まず下記の項目について確認してください。それでも測定が正常にできない場合は直ちに使用を中止して、30ページの「保証規定」をお読みのうえ修理をお申し付けください。

注意 不整脈の方は、測定値に誤差を生じたり、測定できないことがあります。

こんなとき	原因	対処方法	参照
[開始/停止] ボタンを押しても何も表示されない(測定が始まらない)	切替スイッチが時刻設定に合っている。	切替スイッチを A または B の記憶させたい方に切り替えてください。	11ページ
	乾電池の入れ方が間違っている。	乾電池を正しく入れ直してください。	4ページ
	乾電池が消耗している。	4本とも新しい乾電池と交換してください。	4ページ
	ACアダプタのコネクタが外れている。	ACアダプタのコネクタをしっかりと接続してください。	26ページ
	ACアダプタがコンセントから外れている。	ACアダプタをコンセントに接続しなおしてください。	26ページ
乾電池交換マークが点滅する	電源が切れている状態から [開始/停止] ボタンを押し続けた。	測定を開始するときは、ボタンを押し続けなくて、短く1回押してください。	11ページ
	乾電池が消耗している。	4本とも新しい乾電池と交換してください。	4ページ
ACアダプタを使用しているのに乾電池交換マークが点滅する	寒冷時に、乾電池の出力が一時的に弱くなっている。	乾電池を手で暖めたり、暖かい場所にしばらく放置してからお使いください。	-
	ACアダプタがコンセントから外れた状態で使用し、また乾電池も消耗している。	ACアダプタをコンセントに接続してください。 日付・時刻をお使いの場合は、乾電池も交換してください。	26ページ
測定できる回数が少ない	アルカリ乾電池を使用していない。	アルカリ乾電池を使用してください。	4ページ
途中で測定できなくなる	乾電池が消耗している。	4本とも新しい乾電池と交換してください。	4ページ
測定値が ・高すぎる ・低すぎる ・測るたびに違う	正しい方法、姿勢で測定していない。	「血圧を測る前に」、「測定値が高い/低いと感じたら」、「測るたびに測定値が違うと感じたら」、「血圧は常に変動しています」をご覧ください。	8、14~15、16、22ページ
	血圧は、1日のうちで常に変動しています。続けて測定しても値が違う場合があります。		
脈拍数が多すぎる // 少なすぎる	測定中に腕や体が動いた。	測定中は腕や体を動かさずに、再度測定してください。	11~12ページ
	運動直後に測定した。	5分以上安静にしてから、再度測定してください。	15ページ
電源が自動的に切れた	使用後、何も操作しないと自動的に電源が切れます。(測定後は2~3分、記憶機能使用後は約18秒)	故障ではありません。もう一度 [開始/停止] ボタンまたは [記憶呼出] ボタンを押すと使用できます。	13ページ 18ページ
測定中に加圧が一度止まった後、再び加圧する	より正確に測定するために、再加圧を行っている。	そのまま測定し続けてください。	11~12ページ
	測定中に腕や体が動いた。	測定中は腕や体を動かさずに、再度測定してください。	11~12ページ
Err が表示された	腕帯のコネクタが外れている。	しっかりと接続してください。	7ページ
	腕帯の巻きかたが正しくない。 測定中に腕や体が動いた。	腕帯を巻きなおし、測定中は腕や体を動かさずに、再度測定してください。	9~10、11~12ページ
Err 330 が表示された	体動等により加圧値が330mmHgを超えた。	体を動かさずに、安静な状態で測定してください。	11~12ページ
が表示された	[開始/停止] ボタンを押しながら、乾電池を入れた。	[開始/停止] ボタンを押して電源を切った後、使用してください。	4ページ
	[開始/停止] ボタンを押しながら、ACアダプタを接続した。(ただし乾電池を入れていない場合)		
が表示された	日付・時刻が設定されていない。	日付・時刻を設定してください。	5~6ページ
	5分以上、乾電池が外れていた。	単3形アルカリ乾電池を入れて、日付・時刻を設定してください。	4~6ページ

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

注意・お手入れの方法

次の注意事項を守ってご使用ください。

取扱上の注意

- 腕帯に布などを縫い付けない。
故障の原因になります。

乾電池に関する注意

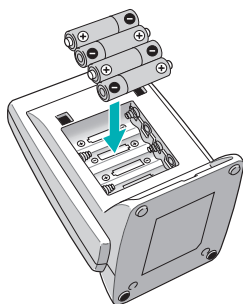
- 乾電池のプラス、マイナスを製品の表示に合わせてマイナス側から入れる。

電池の向きを間違えたり、マイナス側の電極用パネを無理に曲げて入れると、電池が発熱し、故障の原因になります。

- 長期間使用しないときは乾電池を外しておく。
乾電池が液もれし、故障の原因になります。

- 交換は同じ種類の新品の単3形アルカリ乾電池4本を同時に行う。

古い乾電池を混ぜて使用すると乾電池が発熱し、故障の原因になります。



保管上の注意

- 腕帯を無理に折り曲げない。
変形や空気もれ、エラーの原因になります。
- 直射日光の当たるところ、ホコリや湿気の多いところに保管しない。
故障の原因になります。
- 不安定な場所に置かない。落とすなどの強いショックを与えない。
故障の原因になります。故障と思われる場合は、点検をお申し付けください。
- 防虫剤の入ったタンスなどに保管しない。
製品が劣化する場合があります。

清掃上の注意

- 本体、腕帯を水洗いしない。
故障の原因になります。
- 本体、腕帯チューブをアルコール、シンナー、ベンジンなどで拭かない。
故障の原因になります。

お手入れ方法

本体が汚れたときは、中性洗剤を含ませた、よくしぼった布で拭き取ってください。

仕様

販売名	テルモ電子血圧計P370
型式	ES-P370
外形寸法	本体:幅106mm×奥行169mm×高さ144mm 腕帯:幅134mm×長さ500mm(チューブを除く) 収納時直径60~70mm
測定可能な腕周囲	約20~36cm
質量	本体:355g(乾電池除く) 腕帯:約100g
測定範囲	圧力:0~300mmHg 目量(断続指示間隔):1mmHg 脈拍:40~160回/分
精度*	圧力:±4mmHg 脈拍:±5%
測定方式	オシロメトリック法
電源	DC6V(単3形アルカリ乾電池4本) AC100V 50/60Hz(別売ACアダプタ使用時)
消費電力	4W
使用回数	連続約300回使用可能 (新品の単3形アルカリ乾電池使用、180mmHg加圧、周囲温度25℃、腕周囲28cm)
使用環境	温度10~40℃ 相対湿度30~85%RH(ただし結露なきこと)
保存環境	温度-20~60℃ 相対湿度10~95%RH(ただし結露なきこと)
電撃保護	本体:内部電源機器及びクラスⅡ機器(別売ACアダプタ使用時) BF形
付属品	単3形アルカリ乾電池4本・ご利用の手引き/品質保証書・添付文書

本機はEMC規格(電磁気両立性)に適合しております。

(IEC 60601-1-2:1993)

*精度(圧力)については計量法にもとづいております。

仕様は商品改善等のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

別売品

・腕帯

・テルモ電子血圧計専用ACアダプタ

ご希望の方は、テルモ電子血圧計取扱店でお買い求めください。

保証規定

- 保証期間は、お買い上げ後1年です。
- ご使用中、故障が発生した場合はテルモ・コールセンターへ本証を切り取り現品にそえて、修理をご依頼ください。なお、保証期間を過ぎている場合は、テルモ・コールセンターへの送料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- 保証期間中に、通常のご使用において万一故障が発生したときは無償修理いたします。
- ただし、下記の場合は保証期間中でも有償になります。
 - ご使用上で取り扱いの過誤により発生した故障。
 - 製品の改造、不当な修理により発生した故障。
 - 火災、地震、水害等天災地変などの不可抗力による故障および損傷。
 - 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - 消耗部品(腕帯、電池)。
 - 上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障。
 - 品質保証書のご提示がない場合。
 - 品質保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合、また、字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

修理受付先:テルモ・コールセンター

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

TEL 0120-00-8178

ご相談・お問い合わせ先

ご相談やお問い合わせは、販売名をご確認の上、お買い上げの販売店
または「テルモ・コールセンター」にご連絡ください。

この血圧計のコード番号は、ES-P370です。



テルモホームページアドレス <http://www.terumo.co.jp/>

㊞、TERUMO、テルモはテルモ株式会社の登録商標です。

©テルモ株式会社 2006年10月
ES_P370_J_500_002
A109596-1-B

..... (切り取り線)

品質保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、通常のご使用において万一故障が発生したときは裏面の保証規定により無償修理いたします。品質保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売名 テルモ電子血圧計 P370

お名前 _____

ご住所 _____ TEL _____

お買い上げ
販売店名 _____

お買い上げ _____
年 月 日 _____ 年 月 日 _____
_____ 年 月 日 _____

発売元：テルモ株式会社 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号